

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽的基礎知識、読譜に関する技能について基礎ワークに取り組みある程度の効果があった。
- ・授業規律について、落ち着いて授業を受けることができ学習効果が上がってきている。
- ・歌唱において、パートリーダー中心に練習をすすめることができた。

(2) 課題

- ・実技において、歌唱の発声法が身につけていない生徒がいる。
- ・話し合い活動をさらに取り入れて、意見交換や自分たちなりの音楽の感じ方や気づきを促す。
- ・合唱練習の進め方・流れを定着させ、技能の向上を図る。

2 大田区学習効果測定の結果分析

音楽科は効果測定未実施のため略

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱において、身体全体をつかって発声するなど基礎を定着させていく。音符や楽譜について、また、様々な楽器や音楽について知識を増やし思考判断表現の基礎とする。	各題材に対して創造的な活動が行えるよう、話し合い活動の方法を学ぶ。その中で人それぞれの感受の違いなどに共感や批評をしつつ自分なりの考えを見つけられるようになる。	自主的自発的に音楽活動に関わっていけるよう、歌唱においては各リーダーを中心に合唱練習が行えるよう指導していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱において、音符や楽譜について、また様々な楽器や音楽について知識をもとに歌唱・演奏・鑑賞活動できるよう技術を習得する。	各題材に対して創造的な活動ができるよう、人それぞれの感受の違いなどに共感や批評をしつつ、根拠をもって自分なりの考えをもつことができるようになる。	自主的自発的に音楽活動に関わっていけるよう、歌唱においては各リーダーを中心に合唱練習を行い、表現の方法を工夫できるように指導していく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱において、その場にあった表現ができるよう自らの歌唱を振り返り、繰り返し練習をおこなえるような態度・姿勢が身につくよう粘り強く指導していく。	各音楽活動の中で、多様な意見を聞きながらその場にふさわしい表現や根拠をもって歌唱や言葉で表現できるよう、粘り強く思考できる態度・姿勢を身に着けさせる。	自主的自発的に音楽活動に関わっていけるよう、歌唱においては各リーダーを中心に合唱練習を行い、表現の方法を工夫できるように指導していく。

